

高知県商工団体連合会 NO.938(52-15)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosyoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kousyouren.jp/

このニュースはホームページでもご覧になれます

# 高商連ニュース

## 年間増勢めざし、年末まで仲間増やしを！

### ■2020秋の大運動 (9/1~12/6現在)

	拡大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	15	4	2	1	0	6
香美郡	28	3	8	6	0	17
南国	13	1	4	3	0	8
高知	27	15	2	1	0	16
仁淀川	5	0	1	4	0	2
須崎	10	0	0	0	0	1
中村	15	0	0	1	0	6
計	113	23	17	16	0	56

成果会員：読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

### ■1月1日比現勢 (11/29現在)

	読者	会員	共済	婦人	青年
	+2	-5	+1	-3	±0
	+14	+5	-12	-4	-4
	+3	+1	-6	±0	±0
	+24	+11	-39	-1	-3
	+7	+3	+9	+4	±0
	+7	-5	-7	±0	±0
	+9	-3	±0	+3	±0
	+66	+7	-54	-1	-7

年間増勢で新年迎えよう  
 全民商が読者年間増勢中  
 現在、1月1日比で、読者では全民商、会員では4民商が増勢としています。婦人も県としては増減ゼロです。  
 この間、持続化給付金など1000人を超す会員の相談を受けています。その方々の力を借りれば、さらなる拡大も可能です。  
 共済は、新会員で加入していない人も多数います。その方々に、今から声をかけ加入してもらいましょう。  
 全民商が読者・会員・共

### ■コロナ対策・資金獲得実績(累計) \*金額は万円

12月6日現在		安芸	香美郡	南国	高知	仁淀川	須崎	中村	計
持続化給付金	件数	40	136	66	297	29	66	92	726
	金額	4,637	15,025	9,740	34,400	3,053	6,650	8,550	82,055
家賃支援給付金	件数		4	4	55	2		8	73
	金額		199	176	1,981	73		234	2,663
県休業協力金	件数	3	19	12	100	3	6	28	171
	金額	90	570	360	3,000	90	180	840	5,130
自治体制度	件数	2	14	35	9	18	17	69	164
	金額	30	282	761	90	94	170	900	2,326
融資	件数		15	5	50	3	3	7	83
	金額		17,650	4,980	13,400	2,800	1,700	1,550	42,080
生活福祉資金	件数	5	28	3	33	5	4	14	92
	金額	90	555	60	750	95	50	340	1,940
雇用調整助成金	件数	1	3		2			2	8
	金額	不明	161		90			50	301
国保、介護減免	件数		2		57	2	1	13	75
	金額		50		不明	27	不明	180	257
合計	件数	51	217	121	548	60	97	225	1,392
	金額	4,847	34,293	15,901	51,730	6,159	8,750	12,410	136,752

上記表以外に9件の資金獲得あり。合計は1401件、13億3904万円になります。

大坪理事が、農業をしている知人に、持続化給付金申請と入会の呼びかけをしています。秋の運動期間中、会員が4名増えましたが、その内3人は大坪理事の声かけで入会。本当にありがとうございます。(11/30「会報あき」より)

安芸 大坪理事 拡大で奮闘  
 (年末)増勢に挑戦しましょう。  
 済・婦人・青年の5課題での年間

## 消費税減税！コロナ危機から中小業者の営業とくらしを守ろう！ 市民と野党の共同で野党連合政権を

武内則男氏と広田一氏から、民商会員のみなさんへの訴え(衆議院選挙に臨む政策、決意)が届きましたので、2週に分けて紹介します。(2回目)

高商連(県連)は次回の衆議院選挙で高知1区は武内のりお氏、2区は広田一氏を支援することを総会で決議しています。皆様のご支援をお願いします。(会員のみなさんに強制するものではありません。)

### 広田一衆議院議員

民商会員、商工新聞読者の皆様へ  
 7年8カ月に及んだ安倍政権に替わり菅内閣が発足し、凡そ3カ月が経ちました。徐々に菅政権の姿が見えてきましたが、悪いところも含めて前政権を引き継いだように思います。菅政権は始まったばかりですが、次の総選挙までは1年を切りました。より一層野党の連携・勢力拡大に尽力して参ります。



総選挙に臨むにあたり、現状喫緊の課題はコロナ対策です。コロナとの闘いは長期戦となり、国民の生活も経済も大打撃を受けています。感染対策を行いつつ生活支援・経済対策を行わなければなりません、基本となるのは感染の抑止です。感染を抑えなければ国民は安心して社会活動を行えず、結局は経済を回すことができません。そこで、まずは積極的な検査が必要です。我々野党はずっと検査拡充を主張し、私も提出者となって法案も提出していますが、なかなか進まないのが現状です。それから、疲弊している医療機関への支援が必要です。経済的支援は勿論のこと、万全の態勢で医療に臨むための人的・物的支援も欠かせません。さらに、都道府県の役割の拡充が必要で

す。感染拡大には地域差があることや迅速な対応が求められることに鑑みると、各種要請や検査体制整備がやりやすい等、都道府県が動きやすい環境を作るべきです。

次に、生活支援・経済対策です。まず、生活支援策として住居確保給付金の延長、失業手当の支給割合引き上げ・日数延長等が必要です。住まいや日々の生活費の不安を抱えては安心して暮らせません。また、事業・雇用支援策として、持続化給付金、家賃支援給付金、雇用調整助成金、休業支援金・給付金等各種支援の拡充・延長も必要です。売り上げがなくても固定費は重くのしかかり、事業者の体力を奪います。事業者が倒れてしまつては雇用を守れません。それから、生活インフラたる公共交通の支援も必要です。コロナは鉄道、飛行機、バス、タクシー等の経営も圧迫しています。人や物の移動手段が失われると流通が滞り、経済も回りません。

今回はコロナ関連政策の一部を取り上げましたが、勿論これ以外の課題も山積しています。現政権を変えなければこの国の政治は変わりません。まずは来たる総選挙で野党の議席を1議席でも増やし、与野党伯仲を目指します。また、女性議員が少ない現状がありますので、四国でも白川ようこさんをはじめ女性議員の誕生が必要です。真つ当な政治を取り戻すため、高知から政治を変えるために、一緒に戦いましょう。